



# 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社 な と り  
 コード番号 2922

上場取引所 東

URL <http://www.natori.co.jp/>

代表者（役職名）

代表取締役会長兼社長（氏名）名取 三郎

問合せ先責任者（役職名）

経理部長兼経営企画部長

（氏名）安宅 茂

TEL (03) 5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,489	4.5	516	19.6	512	19.0	322	19.9
27年3月期第1四半期	9,076	6.6	431	△18.6	430	△21.1	269	△18.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 403百万円 (39.7%) 27年3月期第1四半期 288百万円 (△29.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	25.67	-
27年3月期第1四半期	20.98	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	28,825	16,645	57.7
27年3月期	29,441	16,348	55.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 16,645百万円 27年3月期 16,348百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	8.00	-	8.50	16.50
28年3月期	-				
28年3月期(予想)		8.50	-	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,600	2.0	660	△25.3	640	△26.5	380	△28.9	30.20
通期	39,200	2.6	1,890	0.1	1,870	2.0	1,170	5.3	92.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無  
新規 一社 ( ) 除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無  
④ 修正再表示 : 有・無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	15,032,209株	27年3月期	15,032,209株
28年3月期1Q	2,449,274株	27年3月期	2,449,274株
28年3月期1Q	12,582,935株	27年3月期1Q	12,834,623株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点においては、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
【四半期連結損益計算書】 .....	7
【四半期連結包括利益計算書】 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
5. 補足情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、緩やかな回復基調にありました。一方で、新興国の経済成長率の低下や欧州における金融不安等、国内経済の下振れリスクは依然として残っております。

食品業界では、お客様の嗜好の多様化により多くの新製品が投入されていますが、商品のライフサイクルが短くなり、各企業ともその対応に追われています。おつまみ市場も例外ではなく、さらにポータレス化が進んでおり、厳しい環境にあります。また、円安の影響もあり、原材料全般において依然として高止まりの状況が続いております。

この様な状況の中、当社グループは、春夏新製品の導入及び市場定着を積極的に進めました。また、各エリアの嗜好に合った製品の重点投入や販売促進等に取り組みました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間の業績は、売上高 94 億 89 百万円（前年同四半期比 4.5%増）、営業利益 5 億 16 百万円（同 19.6%増）、経常利益 5 億 12 百万円（同 19.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 3 億 22 百万円（同 19.9%増）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

期 別 区 分		前第 1 四半期 〔自平成26年4月1日 至平成26年6月30日〕		当第 1 四半期 〔自平成27年4月1日 至平成27年6月30日〕		差引増減額・率	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
食 品 製 造 販 売 事 業	水産加工製品	4,114	45.3	4,126	43.5	11	0.3
	畜肉加工製品	1,472	16.2	1,630	17.2	157	10.7
	酪農加工製品	1,552	17.1	1,802	19.0	250	16.1
	農産加工製品	286	3.2	261	2.8	△24	△8.7
	素材菓子製品	488	5.4	504	5.3	15	3.2
	チルド製品	204	2.3	172	1.8	△31	△15.4
	その他製品	881	9.7	916	9.6	34	3.9
	計	9,001	99.2	9,413	99.2	412	4.6
不動産賃貸事業計		75	0.8	75	0.8	0	0.1
売上高合計		9,076	100.0	9,489	100.0	412	4.5

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### （食品製造販売事業）

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、巾着タイプのチーズかまぼこが好調に推移したことから、いかの旨みをアップした「うまいか」などが売上を伸ばし増収となりました。畜肉加工製品は、新製品の「THE おつまみポーク」などのジャーキー製品や、「一度は食べていただきたい おいしいサラミ」などのドライソーセージ製品が売上増加に貢献したことで増収となりました。酪農加工製品は、「一度は食べていただきたい 燻製チーズ」の売上が引続き好調に推移し、3種のチーズ鱈の味わいを楽しめる新製品の「チーズ鱈セレクション」や、期間限定の新製品の「チーズ鱈 えだ豆」が売上を牽引し、大幅増収となりました。農産加工製品は、減収となりました。素材菓子製品は、「黒まめおやつ」などが好調に推移し増収となりました。チルド製品は新製品の「贅沢なチーズ鱈 ユニーククリーム味」などが売上を伸ばしましたが、減収となりました。その他製品は、定番おつまみの中から人気の4種を詰め合わせた新製品「おひとり様で楽しめる おつまみセット」や「燻製薫るおつまみセレクション」などのアソート製品が売上を伸ばし増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は 94 億 13 百万円（同 4.6%増）となりました。

利益面では、原材料高騰の影響を受けて原材料コストは上昇しましたが、売上増加や、生産性の向上に努めたこと等により、売上総利益は 29 億 98 百万円（同 5.9%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、業務の無駄とりなどあるべきコスト構成を追求するコストコントロール

に継続的に努めたこと等により、25 億 29 百万円（同 3.5% 増）となりました。

この結果、営業利益は 4 億 69 百万円（同 21.2% 増）となりました。

（不動産賃貸事業）

売上高は 75 百万円（同 0.1% 増）、営業利益は 46 百万円（同 5.1% 増）となりました。

		前第 1 四半期 〔自平成26年4月1日 至平成26年6月30日〕		当第 1 四半期 〔自平成27年4月1日 至平成27年6月30日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売上高	9,076	100.0	9,489	100.0	412	4.5
	売上総利益	2,874	31.7	3,045	32.1	170	5.9
	販管費	2,443	26.9	2,529	26.7	86	3.5
	営業利益	431	4.8	516	5.4	84	19.6
	経常利益	430	4.7	512	5.4	81	19.0
	親会社株主に帰属する四半期純利益	269	3.0	322	3.4	53	19.9

## (2) 財政状態に関する説明

当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、288 億 25 百万円（前連結会計年度末比 6 億 16 百万円減）となりました。

資産の部では、仕掛品、投資その他の資産などが増加しましたが、受取手形及び売掛金、商品及び製品、建物及び構築物などが減少したことにより、総資産が減少いたしました。

負債の部では、未払法人税等、短期借入金などの減少により負債合計は 121 億 79 百万円（同 9 億 12 百万円減）、純資産の部では利益剰余金の増加等により純資産合計は 166 億 45 百万円（同 2 億 96 百万円増）となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比 2.2 ポイント増の 57.7% となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績予想および第 2 四半期業績予想につきましては、平成 27 年 5 月 8 日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,208,688	3,179,423
受取手形及び売掛金	6,088,992	5,617,832
商品及び製品	905,718	809,605
仕掛品	555,368	689,498
原材料及び貯蔵品	2,698,968	2,622,420
その他	345,501	298,677
貸倒引当金	△1,350	△1,388
流動資産合計	13,801,888	13,216,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,554,307	6,468,568
土地	5,349,089	5,350,856
その他（純額）	1,986,189	1,926,384
有形固定資産合計	13,889,586	13,745,810
無形固定資産	120,207	125,485
投資その他の資産	※1 1,630,117	※1 1,738,209
固定資産合計	15,639,911	15,609,505
資産合計	29,441,800	28,825,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,729,629	3,682,146
短期借入金	3,289,000	3,191,000
1年内返済予定の長期借入金	40,810	25,530
未払法人税等	418,358	114,706
賞与引当金	322,416	248,424
役員賞与引当金	31,000	7,750
その他	2,773,387	2,438,392
流動負債合計	10,604,600	9,707,951
固定負債		
役員退職慰労引当金	590,402	599,839
退職給付に係る負債	667,032	670,301
資産除去債務	4,918	4,918
その他	1,225,886	1,196,945
固定負債合計	2,488,240	2,472,005
負債合計	13,092,840	12,179,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	13,889,136	14,105,133
自己株式	△2,095,739	△2,095,739
株主資本合計	16,059,445	16,275,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280,994	357,798
為替換算調整勘定	124,761	124,687
退職給付に係る調整累計額	△116,241	△112,309
その他の包括利益累計額合計	289,514	370,176
純資産合計	16,348,959	16,645,618
負債純資産合計	29,441,800	28,825,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)
売上高	9,076,356	9,489,256
売上原価	6,201,420	6,443,775
売上総利益	2,874,936	3,045,480
販売費及び一般管理費	2,443,155	2,529,240
営業利益	431,780	516,240
営業外収益		
受取配当金	9,156	10,991
受取賃貸料	6,803	6,643
その他	8,099	9,136
営業外収益合計	24,060	26,771
営業外費用		
支払利息	4,542	4,871
賃貸費用	9,565	8,718
持分法による投資損失	11,096	17,045
その他	8	-
営業外費用合計	25,212	30,635
経常利益	430,629	512,376
特別利益		
投資有価証券売却益	9	-
特別利益合計	9	-
税金等調整前四半期純利益	430,639	512,376
法人税等	161,379	189,424
四半期純利益	269,259	322,951
親会社株主に帰属する四半期純利益	269,259	322,951

【四半期連結包括利益計算書】

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)
四半期純利益	269,259	322,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,234	76,803
退職給付に係る調整額	2,281	3,932
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,927	△73
その他の包括利益合計	19,588	80,661
四半期包括利益	288,848	403,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288,848	403,613
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,001,201	75,155	9,076,356	—	9,076,356
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,001,201	75,155	9,076,356	—	9,076,356
セグメント利益	387,472	44,308	431,780	—	431,780

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,413,991	75,264	9,489,256	—	9,489,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,413,991	75,264	9,489,256	—	9,489,256
セグメント利益	469,676	46,563	516,240	—	516,240

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成 27 年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成 27 年 6 月 30 日)
投資その他の資産	15,799 千円	15,799 千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 6 月 30 日)
減価償却費	217,796 千円	221,288 千円